



## 駐日外交団による地方視察ツアー～ガストロノミーと歴史・文化を巡る関西～ の実施結果について

令和6年3月2日  
広域観光・文化・スポーツ振興局

2025年の大阪・関西万博の開催地である、関西の歴史、文化、産業、食等を駐日外交団に紹介し、万博開催時の各国の要人等の来場及び関西各地への周遊を促すため、海外観光プロモーションの一環として、外務省との共催で、奈良県及び堺市を対象とする駐日外交団による地方視察ツアーを実施しましたのでご報告します。

### 記

#### 1 概要

- (1) テーマ ガストロノミーと歴史・文化を巡る関西
- (2) 日程 令和6年1月30日(火)～31日(水)
- (3) 主催 外務省・関西広域連合
- (4) 参加国 (アルファベット順) 10か国15名  
エクアドル、ギリシャ、ヨルダン、ペルー、ルーマニア、ルワンダ、セネガル、スロベニア、スペイン、米国
- (5) 主な行程  
1月30日(奈良県) 大神神社、県立なら食と農の魅力創造国際大学校、喜多酒造 等  
31日(堺市) 仁徳天皇陵拝所、堺刃物の鍛造・研ぎ工房、さかい利晶の杜 等

#### 2 ツアーの様子

##### 【1月30日】

##### (1) 大神神社

日本最古の神社と言われ、古来より酒の神として信仰を集める大神神社を訪れた。外交団一行は、大神神社をはじめ地元の方々からの歓迎を受けたのち、拝殿を視察し、日本古代の信仰についての説明を受けた。



##### (2) 千寿亭 (外務省主催昼食会)

老舗素麺店「千寿亭」において、外務省主催昼食会が行われた。冒頭、菱山地方連携推進室長から挨拶があり、参加した駐日外交団に対し、奈良県及び堺市の多様な魅力を体験し理解を深め、その魅力を積極的に発信していただきたい旨が述べられた。駐日外交団は「奈良



のうまいもの」を堪能し、その魅力を体感するとともに、参加者同士の交流を深めた。

### (3) なら食と農の魅力創造国際大学校 (NAFIC)

「食」と「農」の接続をコンセプトに、農業経営者等の農の担い手や料理人等の食の担い手を育成する NAFIC を訪問した。駐日外交団は NAFIC の農園で育てられた奈良県産品種のイチゴを試食しながら学校について説明を受けた後、調理実習の様子を視察し、生徒と交流した。視察後、駐日外交団を代表してアンナーブ駐日ヨルダン大使から生徒に対し今後に向けたエールが送られた。



### (4) 喜多酒造

創業以来 300 年以上「美味しいお酒」にこだわった酒造りを続けてきた酒蔵である喜多酒造を訪問した。杜氏である店主の案内のもと酒蔵を視察し、ワインとの比較を通して日本酒についての理解を深めた後、日本酒や甘酒を試飲した。



### (5) 道の駅なら歴史芸術文化村

県内各地の新鮮な野菜や果物をはじめとする特産品の他、奈良の伝統的な技術・技法を用いた工芸品を一堂に集め、展示・販売する道の駅なら歴史芸術文化村を訪問し、駐日外交団は奈良の特産品や工芸品についての説明を受けた。



### (6) 奈良ホテル (奈良県知事主催夕食会)

100 年以上前に「関西の迎賓館」として誕生した奈良ホテルを会場に、奈良県知事主催歓迎夕食会を開催した。山下真知事から駐日外交団に対し、本ツアーを契機に奈良の魅力に触れ、本国での情報発信や 2025 年の大阪・関西万博での再訪につながることを期待する旨の挨拶を行った。外交団一行は奈良県産食材を使用した料理を堪能しつつ、山下知事らと交流した。





【1月31日】

### (7) 百舌鳥古墳群ビジターセンター

百舌鳥古墳群ビジターセンターを訪問し、「百舌鳥・古市古墳群」が世界遺産に登録された背景等の説明を受け、カーブスクリーンと床面に 8K 空撮映像が投影されるシアターでは、古墳群の雄大さを体感した。



### (8) 仁徳天皇陵古墳拝所

世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」を代表する墳墓である仁徳天皇陵古墳の拝所では、約 1600 年前に築造された古墳の構造やその大きさが被埋葬者の身分を表していることなどについて説明を受け、古墳についての理解を深めた。



### (9) シマノ自転車博物館

日本で唯一の自転車博物館であるシマノ自転車博物館では、古墳築造の際に用いられた鉄の加工技術が、現代の自転車産業に受け継がれていることなどの説明を受けたのち、クラシックバイクから最新のロードバイクまで様々な種類の自転車の展示を通じて、自転車の発展の歴史と製造技術に対する理解を深めた。



### (10) 梅の花さかい利晶の杜店（堺市長主催昼食会）

梅の花 さかい利晶の杜にて、堺市長主催昼食会を開催した。堺市を代表して永藤英機市長が挨拶を行い、堺市は日本中を見渡しても類いまれな歴史を有していることや、2025 年の大阪・関西万博では外交団の出身国から多くの方に万博会場や堺市を訪れていただきたいことを述べた。外交団一行は堺にちなんだ懐石料理を堪能しつつ、堺市長らと交流した。



## (11) 堺伝匠館

刃物や注染・和晒、線香をはじめとする堺の伝統産業を一堂に集めた施設である堺伝匠館を視察し、分業制（鍛冶・研ぎ・柄付け）によって磨かれた技術を持つ職人が製作した刃物の展示を通して、堺刃物の歴史や高い品質に対する理解を深めた。お土産として、堺刃物を購入する参加者も見られた。



## (12) 榎並刃物製作所、(株) 田中打刃物製作所（刃物鍛冶工房視察）

2 グループに分かれて、それぞれ「榎並刃物製作所」と「(株)田中打刃物製作所」を訪問し、刃物の「鍛冶」の工程を視察した。伝統工芸士である鍛冶職人の技術を目の当たりにした外交団からは、刃物の原材料や技術の継承に関する質問が多く出るなど、興味深く視察している様子であった。



## (13) (株) 山脇刃物製作所、(株) 福井（刃物研ぎ工房視察）

刃物鍛冶工房の視察後は「(株)山脇刃物製作所」と「(株)福井」を訪問し、刃物の「研ぎ」の工程を視察した。外交団は、鋭い切れ味に仕上げるために刃物を薄く研ぎ上げる職人の技術に見入っている様子であった。



## (14) さかい利晶の杜

さかい利晶の杜を訪問し、国際貿易都市として栄えた約 500 年前の堺の様子や茶の湯の変遷に関する説明を受けた後、茶の湯とともに発展した和菓子の手作り体験を行った。参加者各自が作った和菓子を茶の湯の先生のお点前によるお茶と一緒に味わい、茶の湯文化を肌で感じていただいた。



## <ツアー終了後>

ツアーを終えた外交団一行を代表して、カラミツオス-ジラス駐日ギリシャ共和国大使から、ツアーの実施に対する感謝の意が述べられた後、各方面への関西の紹介は我々の役目であり積極的に発信するようになりたいとの発言があった。